清流の国ぎふ　岐阜大学 GIFU UNIVERSITY

清流の国ぎふ 防災・減災センター

2021/04/24 デジタルアーカイブ学会

災害アーカイブぎふを活用したオンラインワークショップ

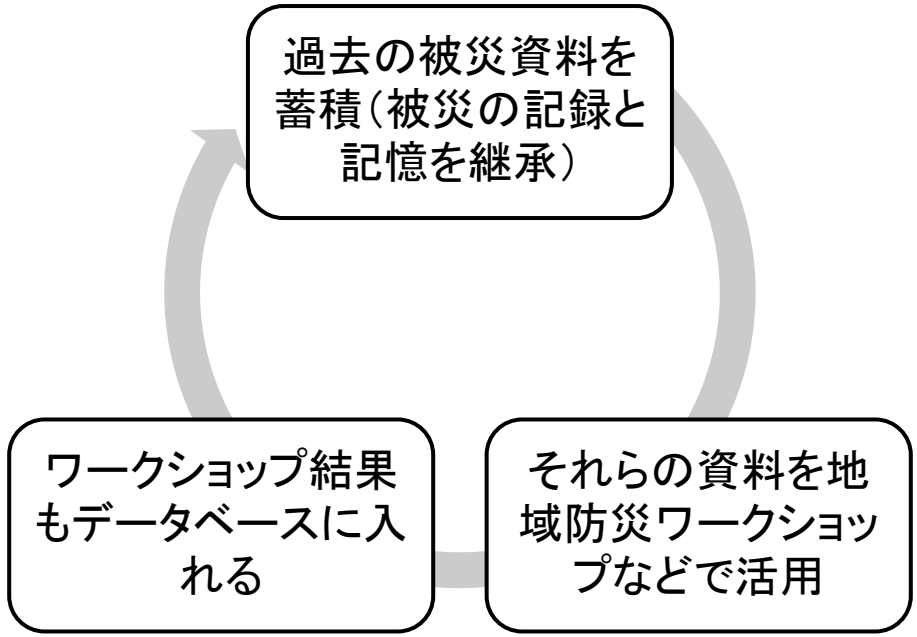
岐阜大学　○小山真紀，東北大学　柴山明寛

災害アーカイブぎふ　荒川宏，伊藤三枝子，平岡祐子

岐阜女子大学　井上透

災害アーカイブぎふ

- 過去の災害資料は，その地域の脆弱なところを示したり，対策の知恵を知るための貴重な資料
- 災害の記憶や資料は，役所の保管年数や経験された方の死去などによって，逸散してしまう
- 災害を経験した人がいても，その話を伝える機会がない
- 過去の災害の記憶や記録を意識的に残し，新しい世代に継承する仕掛けが必要



災害アーカイブの構築，災害アーカイブに格納したデータの活用まで連動させて，地域防災に活用する方策を提案

災害アーカイブぎふ



サブサイトマップ

- 災害アーカイブぎふ
  - 私たちの活動
  - 災害アーカイブを使う
  - 災害アーカイブをつくる
  - 参考資料
  - マップの見方

詳細表示 »

プロフィール



団体名称

災害アーカイブぎふ

団体概要

<メンバー> 小山真紀（岐阜大学）、 柴山明寛（東北大学）、 千葉久美子（伝実行委員）、 平岡守（かわべ防災の会）、 荒川宏（NPO法人ドゥチュウブ）、 伊藤三枝子（清流の国ぎふ女性防災士会）、 平岡祐子、 中村貫志（岐阜大学） 高橋広昭 <連絡先> e-mail : archive.gifu(あっと)gmail.com

災害アーカイブぎふ へ ようこそ！



私たちの活動



災害アーカイブを使う



災害アーカイブをつくる

過去の災害を忘れずに、伝えていくことにより、多くの人に災害への備えをしていただくための活動しています。	過去の災害写真などで若い人に災害当時の様子を伝えて、災害への備えについて考えるワークショップを開催しましょう。	過去の災害を記録した資料をデジタル化し、誰でもが使えるアーカイブ（資料庫）をみんなで作りましょう。

災害アーカイブ 災害でさがす

資料を見る

災害アーカイブ 地域でさがす

お知らせを見る

ごあいさつ

岐阜県では、過去にいくつもの災害が発生しています。
岐阜県の災害といえば、1891年（明治24年）10月28日濃尾地震が有名です。
しかし、この100年以上前の地震について、私たちはどれだけのことを知っているでしょうか？

あなたが住んでいる町の50年前の災害を知っていますか？
ある中学校の防災授業で、50年前に発生した災害を生徒に尋ねたところ
手を挙げたのは、クラスでたったひとりでした。

凡例一覧

メモ描画

登録情報

表示更新

- 地区インデックス
- 00川辺町WS
- 03多治見市根本WS
- 08曇俣町WS
- 04郡上市大和WS

背景地図

主題図

基本地図

- 淡色地図（地理院タイル）
- 岐阜県域統合型GIS：共有空間基本地図

URL

災害アーカイブぎふ

ログイン

広域図

マップ情報

マップ表示ブックマーク

距離面積計測

簡易検索

範囲指定　すべての範囲

キーワード絞り込み

対象 表示中の登録情報

表示順 中心からの距離

(1-7 / 7件)

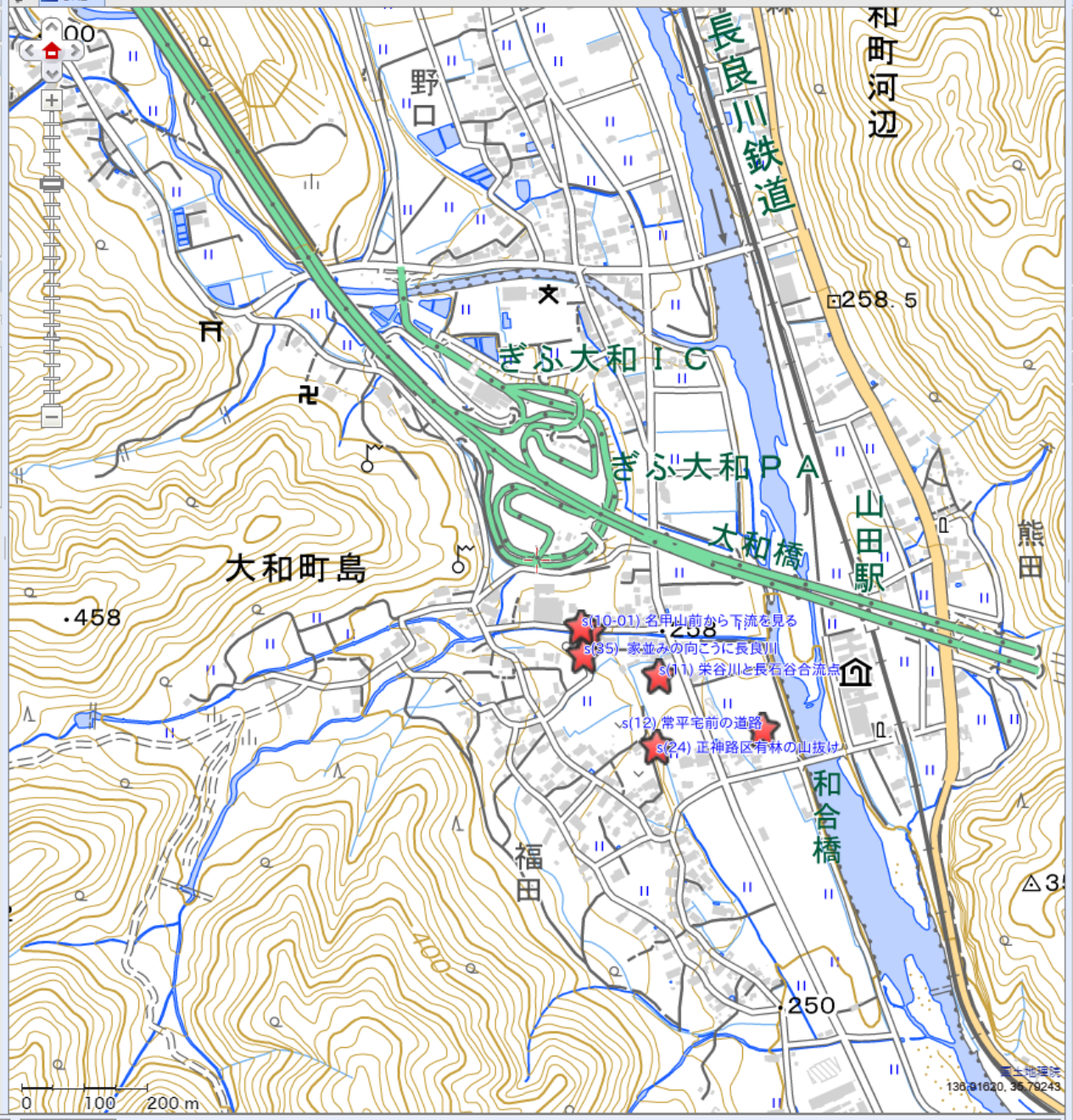
地区インデックス：0m
名称: 郡上市大和
地図表示: 郡上市大和の地図を見る

04郡上市大和WS：128m
資料番号: s35.788213, 136.906717
資料名: s(10-01) 名甲山前から下流を見る
位置特定状況: ○
表示: ○
資料内容説明: 参考 7月下旬) 名甲山前から下流を見る 今日は松葉弘宅裏に掛かる橋も水路橋も見える

04郡上市大和WS：140m
資料番号: sIMG_5542
資料名: 土砂災害警戒区域_看板
位置特定状況: ○
表示: ○

04郡上市大和WS：168m
資料番号: s35.787817, 136.906754
資料名: s(35) 家並みの向こうに長良川
位置特定状況: ○
表示: ○

2画面表示　地図追加　印刷　情報一覧　座標　住所　移動




凡例一覧
メモ描画
登録情報
表示更新
地区インデックス
00川辺町WS
03多治見市根本WS
08曇倹町WS
04郡上市大和WS
背景地図
主題図
基本地図
淡色地図（地理院タイル）
岐阜県域統合型GIS：共有空間基本地図
災害アーカイブぎふ
URL
拡大 メニュー
04郡上市大和WS
更新: 2020-04-05 03:05:23
資料番号:
s35.787817, 136.906754
資料名: s(35) 家並みの向こうに長良川
資料分類:
撮影日・作成日付:
撮影日・作成日概略:
資料場所（市町村名）:
資料場所（所在地）:
資料場所（緯度）:
資料場所（経度）:
位置特定状況: ○
表示: ○
長良川鉄道
和町河辺
野口
大和ＰＡ
大和橋
山田駅
熊田
和合橋
福田
I C
s(10-01) 名甲山前から下流を見る
s(35) 家並みの向こうに長良川
s(11) 栄谷川と長石谷合流点
s(12) 常平宅前の道路
s(24) 正神路区有林の山抜け
258.5
356.6
300
458
492
250
0 100 200 m
ログイン
広域図
マップ情報
マップ表示ブックマーク
距離面積計測
簡易検索
範囲指定
すべての範囲
キーワード絞り込み
対象 表示中の登録情報
表示順 中心からの距離
(1-7 / 7件)
地区インデックス : 0m
名称: 郡上市大和
地図表示: 郡上市大和の地図を見る
04郡上市大和WS : 128m
資料番号: s35.788213, 136.906717
資料名: s(10-01) 名甲山前から下流を見る
位置特定状況: ○
表示: ○
資料内容説明: 参考 7月下旬) 名甲山前から下流を見る 今日は松葉弘宅裏に掛かる橋も水路橋も見える
04郡上市大和WS : 140m
資料番号: sIMG_5542
資料名: 土砂災害警戒区域_看板
位置特定状況: ○
表示: ○
04郡上市大和WS : 168m
資料番号: s35.787817, 136.906754
資料名: s(35) 家並みの向こうに長良川
位置特定状況: ○
表示: ○
2画面表示
地図追加
印刷
情報一覧
座標
住所
移動

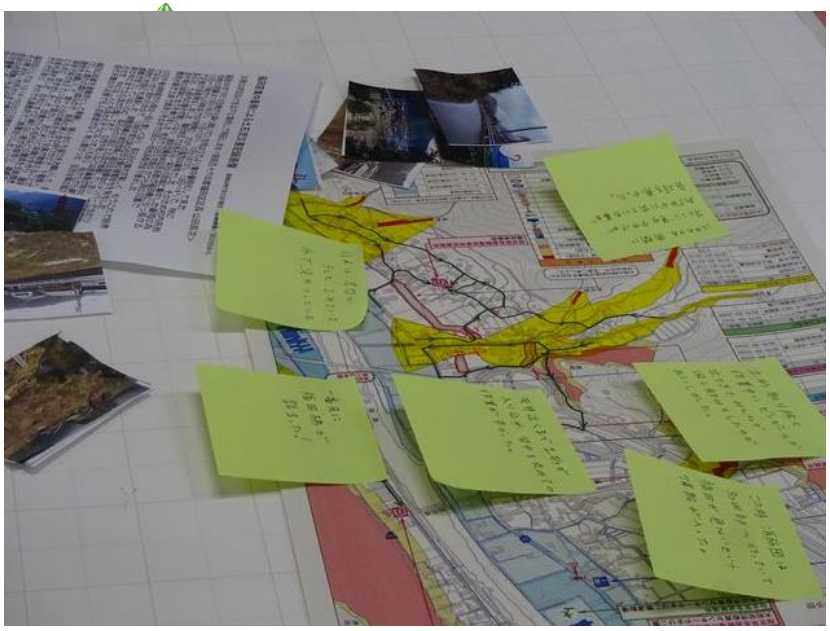












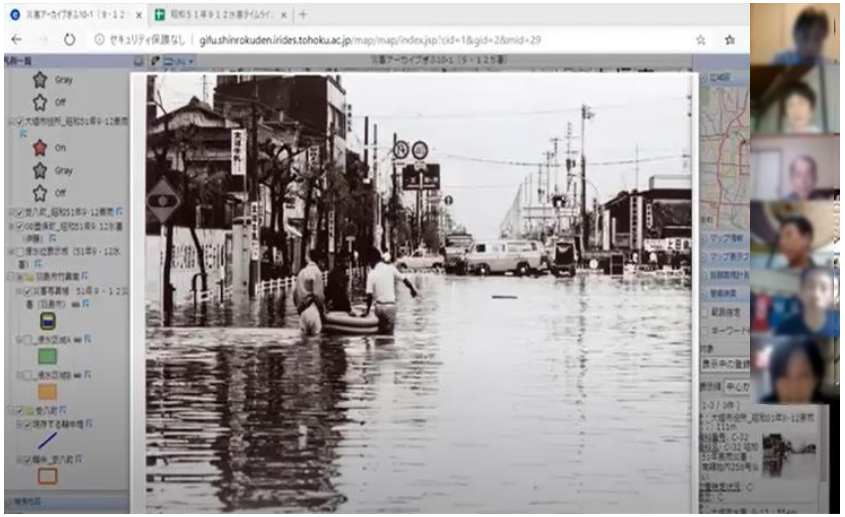


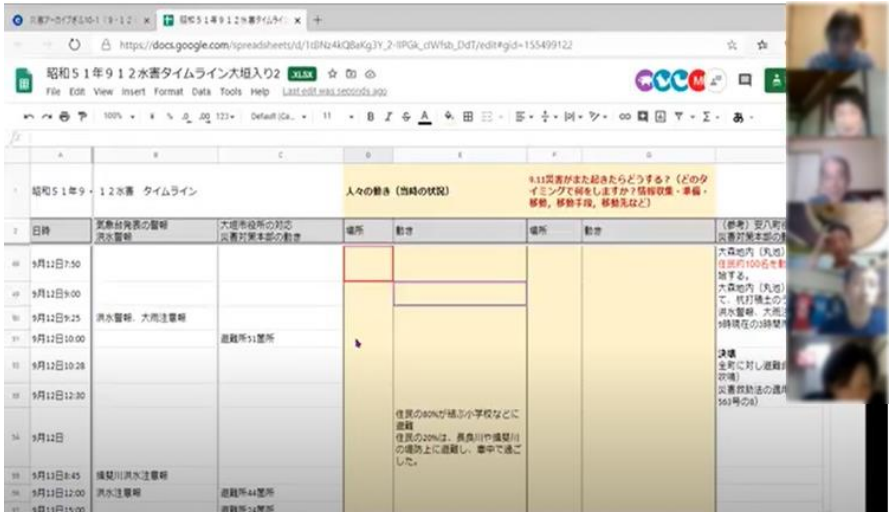


背景と目的

- 災害アーカイブワークショップは対面での実施を前提として設計してきた
- コロナ禍で対面ワークショップの実施が困難になった

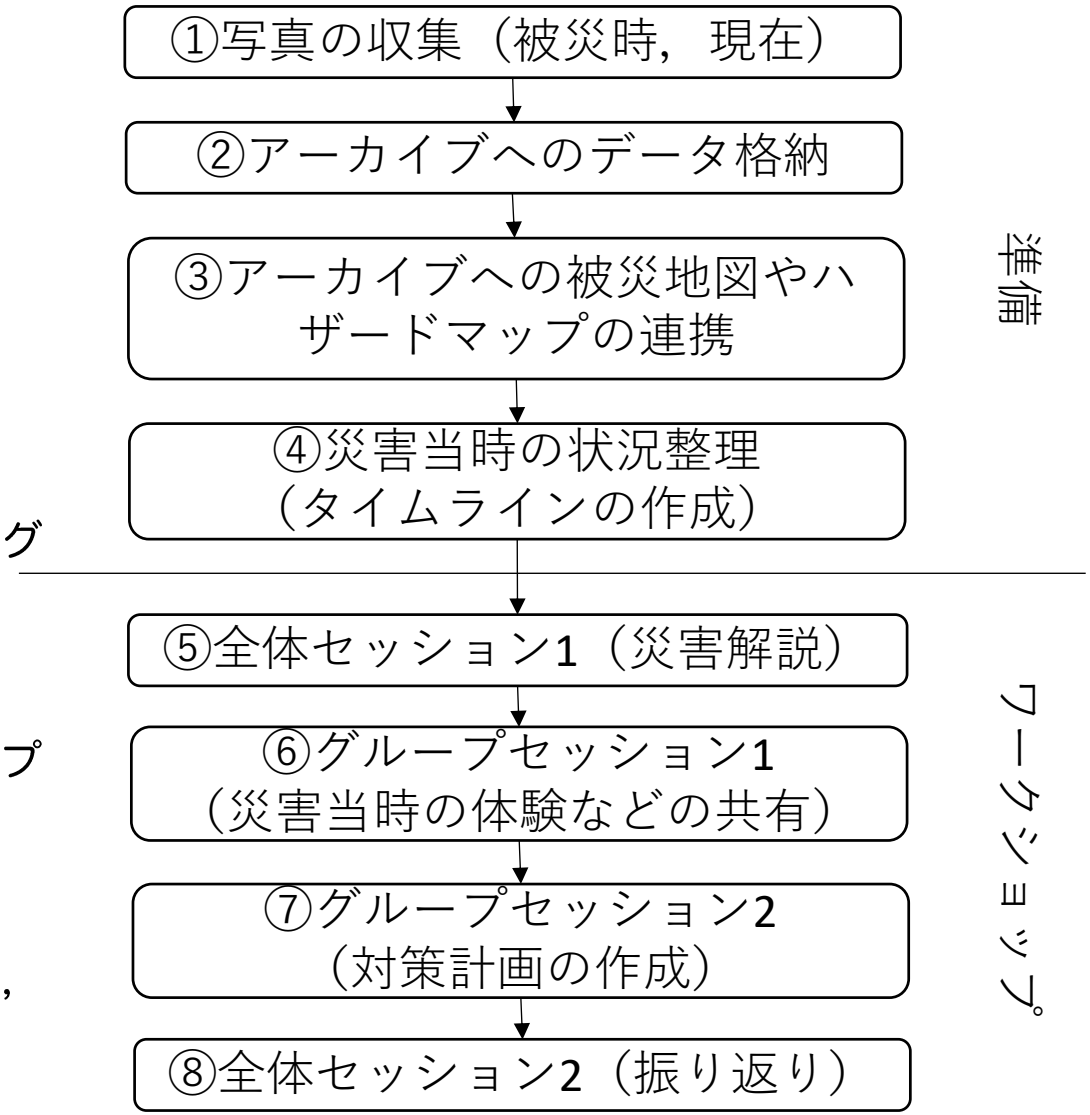
- 災害アーカイブワークショップのオンライン化

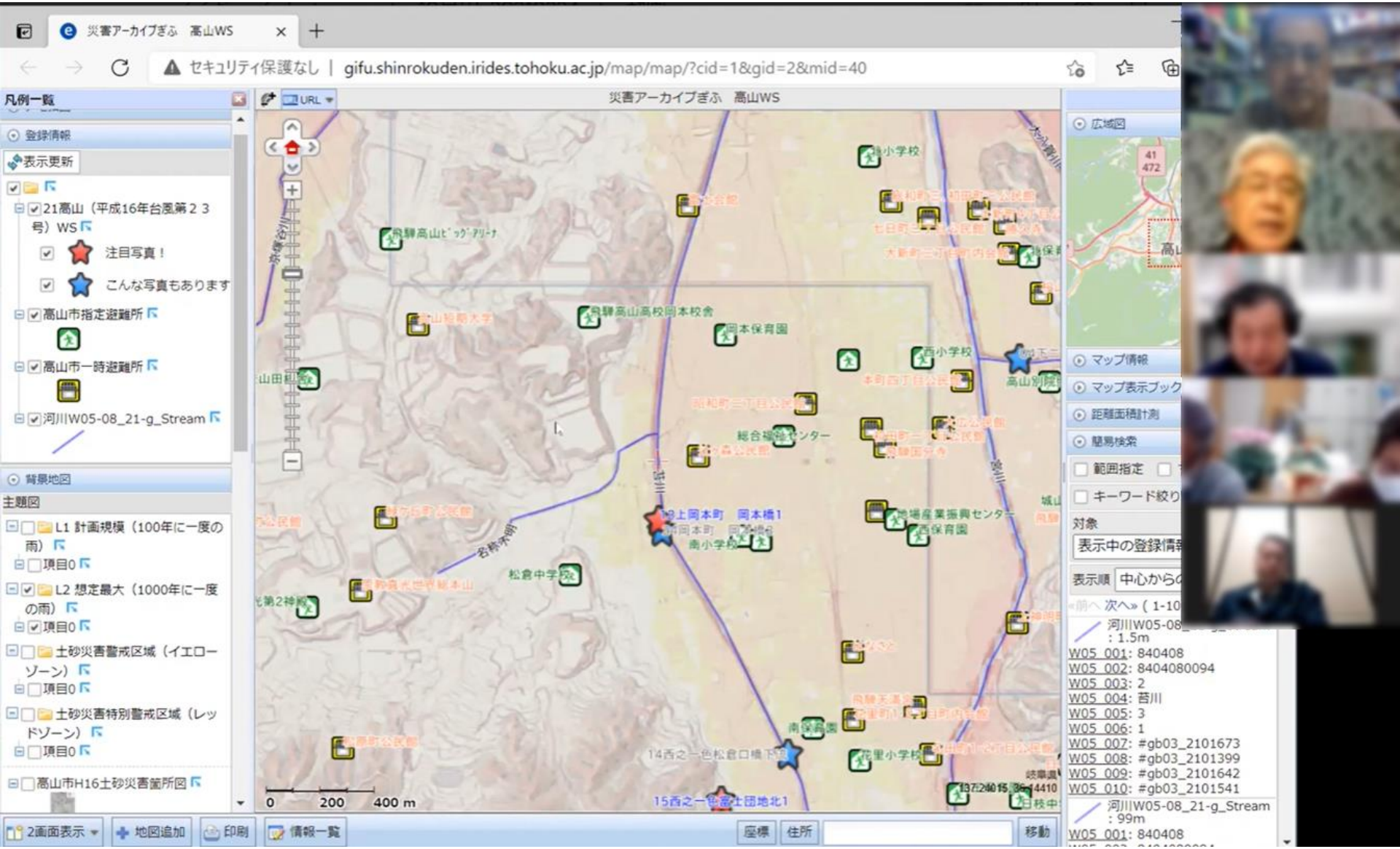




災害アーカイブワークショップオンライン

- 対象者
  - 一般（中学生くらいから大人まで）
- 時間
  - 2時間
- 人数
  - 1グループ6名程度
- スタッフ
  - 全体の進行役，グループの進行役，グループの記録係
- 必要なもの
  - 有料Zoomアカウント，WebGISハザードマップ（重ねるハザードマップなど），タイムライン記録用シート（Google sheetsなど）
- その他活用できるもの
  - 地理院地図（標高，土地の成り立ち，災害伝承，近年の災害など）




災害アーカイブぎふ 高山WS
セキュリティ保護なし | gifu.shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp/map/map/?cid=1&gid=2&mid=40
凡例一覧
登録情報
表示更新
21高山（平成16年台風第２３号）WS
注目写真！
こんな写真もあります
高山市指定避難所
高山市一時避難所
河川W05-08_21-g_Stream
背景地図
主題図
L1 計画規模（100年に一度の雨）
項目0
L2 想定最大（1000年に一度の雨）
項目0
土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
項目0
土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
項目0
高山市H16土砂災害箇所図
災害アーカイブぎふ 高山WS
広域図
マップ情報
マップ表示ブック
距離面積計測
簡易検索
範囲指定
キーワード絞り
対象
表示中の登録情報
表示順
中心から
河川W05-08
: 1.5m
W05_001: 840408
W05_002: 8404080094
W05_003: 2
W05_004: 苔川
W05_005: 3
W05_006: 1
W05_007: #gb03_2101673
W05_008: #gb03_2101399
W05_009: #gb03_2101642
W05_010: #gb03_2101541
河川W05-08_21-g_Stream
: 99m
W05_001: 840408
0
200
400 m
2画面表示
地図追加
印刷
情報一覧
座標
住所
移動

清流の国ぎふ　岐阜大学 GIFU UNIVERSITY　清流の国ぎふ 防災・減災センター

23号時系列 .XLSX

ファイル　編集　表示　挿入　表示形式　データ　ツール　ヘルプ　最終編集: 3月24日（mieko ito さん）

共有

A1　時　間

	A	B	C	D	E
1	時　間	時系列の災害対策	時　間	時系列の災害発生個所	ご自身の体験
2	10月20日				
3	11時15分	大雨洪水警報			国府町職員　帰路の途中
4	13時00分	高山市本部連絡員会議開催			ひどい雨、水門を閉めている人がいた
5	13時00分	岐阜県災害警戒本部設置		招集　四十八滝　孤立しそうで現地に入ったら自分も孤立をした	
6	13時30分	振りはじめからの雨量６５mm気象台発			
7	14時55分	暴風警報追加　小中学校15時までに下校指示			福島から来たのでこちらにはいなかった
8	15時30分	高山市災害対策本部設置			
9	16時30分	振りはじめからの雨量９７mm気象台発			20：00　30分後　浸水していた
10			17時08分	消防初出動　石浦町2丁目●●裏の川溢れそう、土嚢で対応	50ｃｍでもうダメかな？と感じた
11	17時48分	ウエザーニュース　21時ころにかけ20～３０mmの強雨			歩道と車道の橋が分かれていた　歩道橋が壊れた
12	18時20分	河川予報宮川古川観測所水位１，６２ｍ　宮川洪水注意報			
13	18時30分	企画可・農林課・建設課の全職員招集	18時30分	松之木町　水路が溢れた	JR鉄橋が壊れた
14	18時40分	避難所の開設を含め厳重警戒体制に入る。	18時40分	消防より、松倉口橋あと５０ｃｍ	
15	18時50分	市全ての部課長招集			清見町　海洋センターの前の道が水が浸水して
16	19時09分	ウエザーニュース　最大５０mm以上の恐れ体制強化推薦			次の日　仕事にどうやって行こうか心配をした
17	19時09分	気象台発　岐阜・西濃や郡上市付近過去数年間で最も危険			川の近くのひとは公民館に避難をしていた
18			19時12分	春日町土砂崩れ　自主避難の広報実施	
19	19時15分	県災害対策本部設置			古川町の方に勤めていた
20			19時14分	桐生町8丁目　用水が溢れそう	荒木川　宮川の水位をＰＣで確認をしていた
21			19時21分	千島町　阿矢谷川増水し自宅に浸水	国道41号が通れなかったので、回り道をして通勤をし
22			19時30分	江名子町　団が住民を江名子小に避難誘導	
23			19時33分	山田町　床下浸水寝たきりの家族がいる助けて	消防署　勤務　夕食後　18：00川の状況の確認
24	19時35分	振りはじめからの雨量１５７mm気象台発			松倉口橋あと50cm　一報を入れた
25			19時38分	上岡本町　用水溢れ	住民に声を掛けた　消防団に声掛けの指示をした
26			19時40分	三福寺町　用水溢れ	市営住宅の班長さんに　避難の声掛けをした（避難を
27			19時46分	石浦町9丁目　用水溢れ	41号のバイパスが浸水
28			19時48分	松原町　谷川が溢れてる	床下・床上　浸水の情報が入り、救助に向かった
29			19時50分	片野町　浸水	自衛隊が0時に派遣されてきた（愛知県の駐屯地）
30			19時50分	片野町4丁目　宮川決壊しそう	翌７：００まで現場に出ていた
31	19時53分	宮川洪水警報　宮川古川観測所水位２，９７ｍ	19時53分	松之木町　床下浸水	高山自体が、浸水の事案が今までなかったので、高山
32			19時57分	三福寺町　土砂崩れ	災害があるのだなと感じていた
33	20時00分	苔川沿いの堤防が冠水しているのを受け、苔川沿い住民約1100世帯（約	20時00分	古寺橋付近　苔川増水で老人1名家に取り残された。	

Sheet1　1班　2班　3班　タイムライン

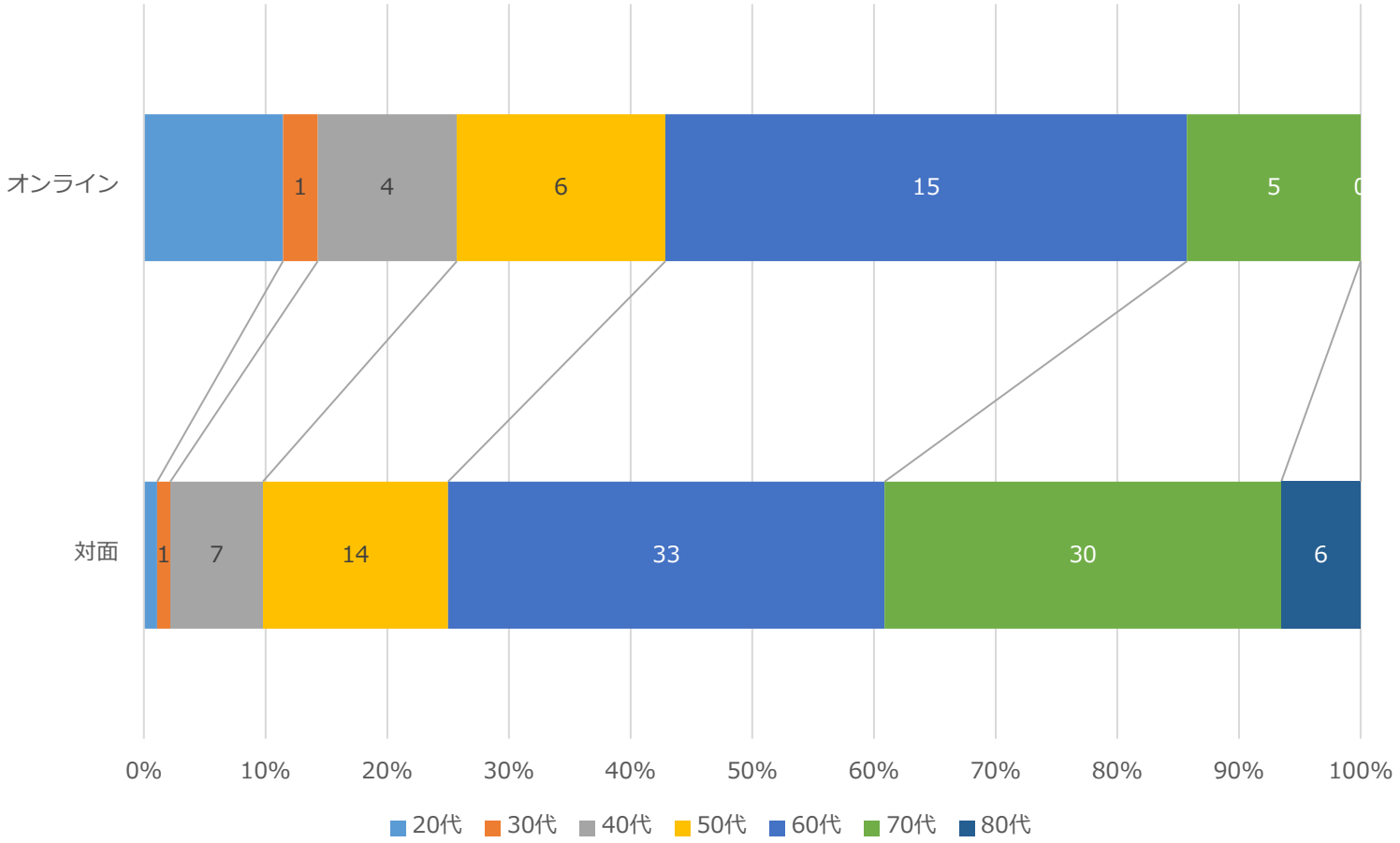
ワークショップの試行

- 日時：2020/6/27　対象場所：大垣市　対象災害：1976年9.12豪雨災害　主催者：清流の国ぎふ女性防災士会　参加者：9名
- 日時：2021/2/27　対象場所：名古屋市　対象災害：2000年東海豪雨　主催者：三陸&東海 防災フォーラム“伝”実行委員会　参加者：37名
- 日時：2021/3/24　対象場所：高山市　対象災害：2004年台風23号　主催者：高山市民防災研究会　参加者：27名

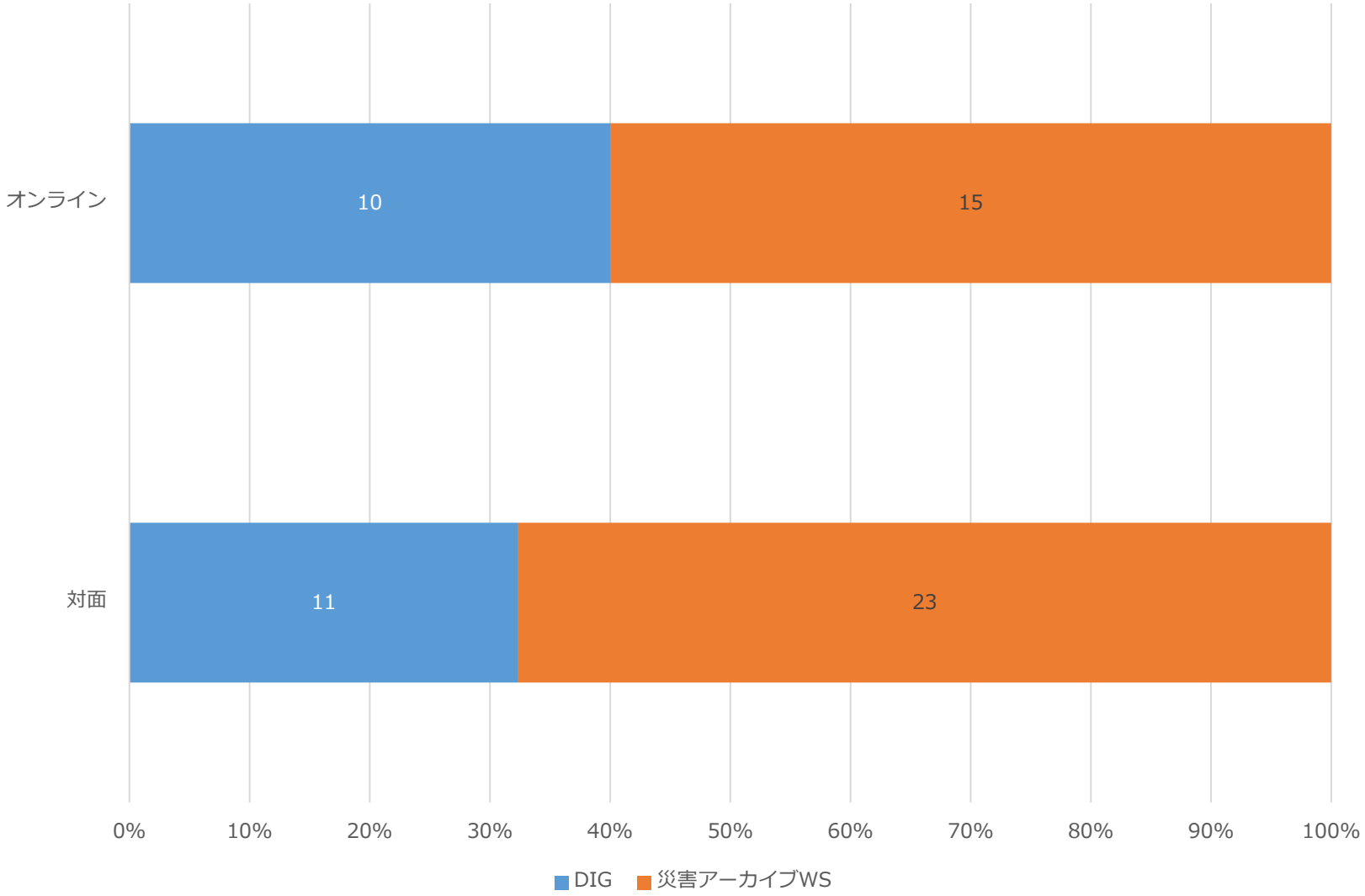
番外編

- 日時：2020/10/27　場所：岐阜市立則武小学校　対象災害：1976年9.12豪雨災害　主催者：則武小学校PTA

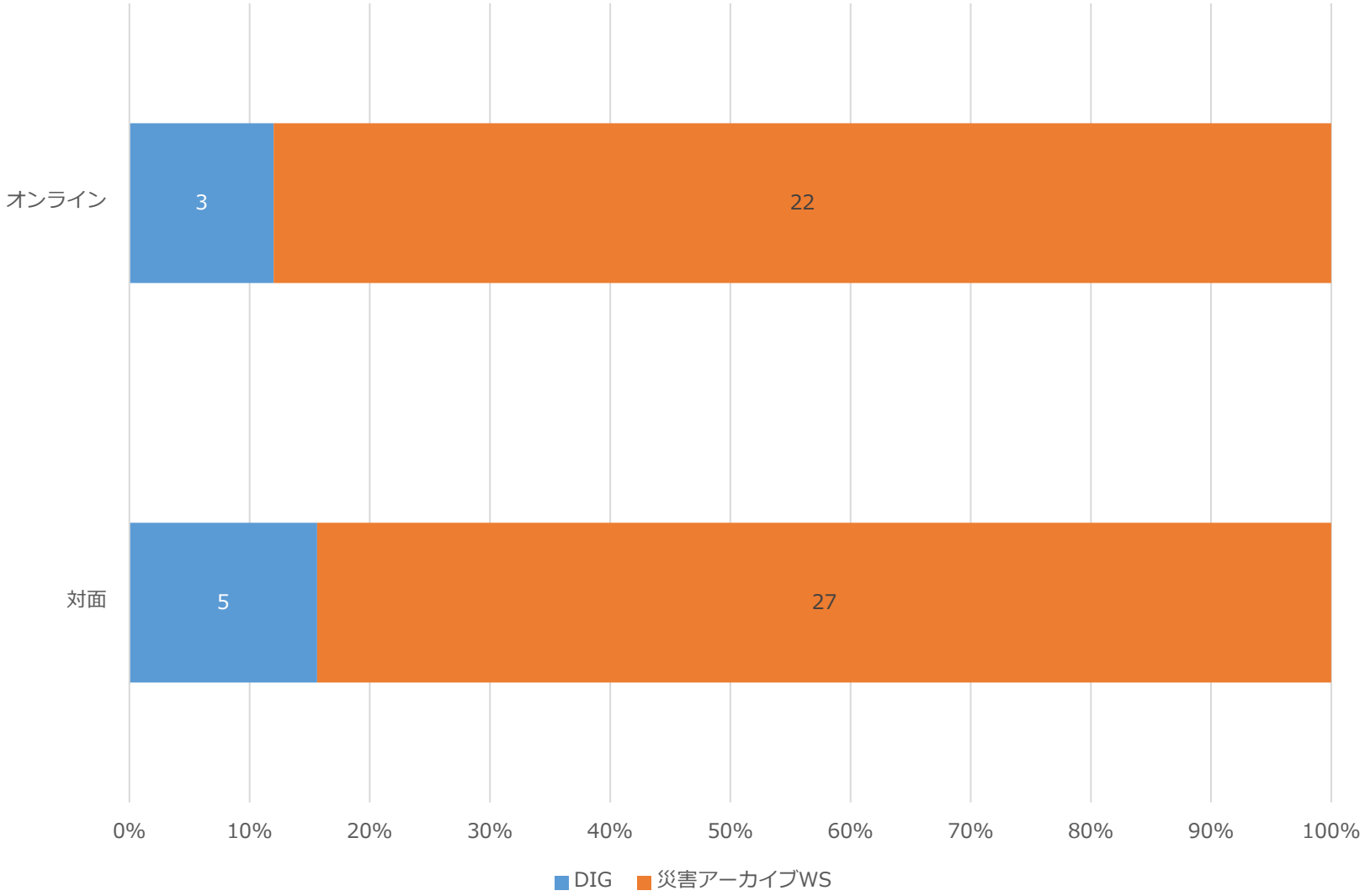
参加者の年齢分布


オンライン
対面
1
4
6
15
5
1
7
14
33
30
6
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
20代
30代
40代
50代
60代
70代
80代

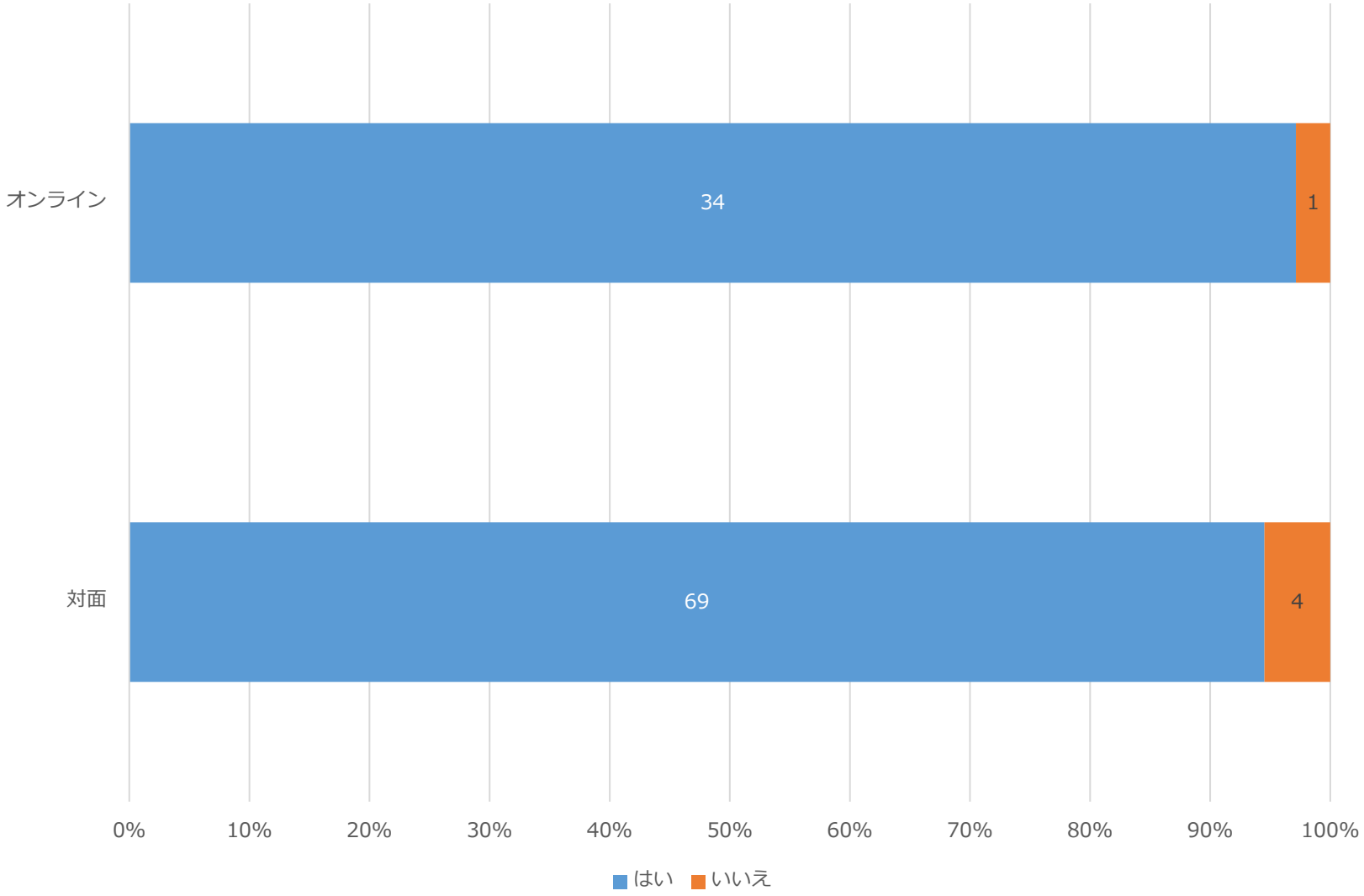
DIGとの比較（場所をイメージしやすいのは）



DIGとの比較（被害をイメージしやすいのは）



またやりたいか



オンラインで困ったこと

- NET環境のない方の参加について一考する必要があると思います。
- PCの扱いが未熟で戸惑った、伝のメンバーにおんぶに抱っこでお世話かけました。
- Zoomの扱い方に戸惑いがありました。そのうちになれると思います。
- 慣れないオンラインでしたので、そばに詳しい人と一緒でしたからよかったですが、慣れるまでは不安です。
- オンラインの通知が期日までに確実に届くか心配がありました。
- 回線状況が不安定。
- 顔が見えていて特にないが、発言するのに手上げではなく指名を待たなくてならず、若干気がそがれるように感じた。
- 記録係が大変そうでした。被災経験のない人は傍観者になりやすかったです。
- 現時点では具体的にはありません（わかりません）が、参加を続けると何かあるように思います。今回はどちらかと言うと一方的に聞くだけになってしまったので。
- 司会者がしっかりと場を回してくださったので、困ったところはなかった。途切れたところはあったが、オンラインなので仕方ないと思った。
- 聞き取りづらい時があった。
- イヤホンをして同じ会場の方の音声とオンラインの方の音声を聞き分けるのに苦労しました。
- 会場での参加でしたが、部屋の前の方の照明が点いていなかったので、パソコンの画面上の自分の顔が真っ暗でした。(ビデオなしで参加もできるので、どちらでも良いことですが。)オンラインに不慣れの方もいて、ミュートにしてなかったり、スピーカーオフにしていなかったりしたのが、少し気になりました。
- PCを持参しなかった人と共通でやっていて、内容が中断されたことがあった。

オンラインの利点

- １人１人の発表に集中しやすかった、
- zoomの機能を良く利用されて、良かったです。
- いろんな方の顔が拝見できたこと。高山は狭い街ですのでどこかでお会いすると思います。
- コロナ禍で集まれなくても、身近に感じることができました。
- データが豊富でとても参考になりました。
- "安定した環境で良かったと思います。資料が共有できるので、文字やグラフがはっきり読めるところがいいです。"
- 遠隔地の方とも情報を共有できるのは便利だとおもいます。
- 会場と違い、自宅からでしたので「安心」して参加出来た。
- 現地に来れない人とも繋がれること。
- 言葉・映像がはっきりしていてよいです。
- 交通費がかからないのは良かったと思う
- 時間の調整がし易く、参加しやすい。
- 自分ではさほどの被害を受けていないのですが、狭い地域での地域の実態を聞くことができ、今後の心構えと、地域的な特性を知ることができた。
- 場所や時間の制約に左右されないところです。
- 対面と同じように意見が聞けたのがよかった。

まとめ

- オンライン版災害アーカイブワークショップを開発，試行した
- 対面と比べて，70代以上の高齢者の参加者の割合が大きく減少．一方で，60代以下は増加
  - 地域内で事前にZoom講習を実施．フォローさえできれば，高齢者でも参加できる
- オンラインのデメリットとしては，回線が不安定な場合の問題，発言タイミングがわかりにくい，ZoomやPCなどの不慣れがあげられた
- オンラインのメリットとしては，遠くの人と一緒に参加できる，移動しなくても良い，現地に行けない人でも参加できる，コロナ禍でも繋がれる，いろんな情報を使うことができることなどがあげられた